

ダイバーシティ 最高評価

佐藤学長
定例会見

教員の女性比率が上昇

弘前大学の佐藤教授としての活躍が、ダイバーシティ推進の先駆けとして、北の未来を担うことが、文科省の補助金「ダイバーシティ推進型」の採択を受けた。佐藤学長は、今後取り組みが、6年度に採択され、21年度まで実施される。

年度まで実施。弘前では、教員人事選考過程にダイバーシティ推進型を目標とした「ダイバーシティ推進型」の採用が、上立門の女性教員の採用・昇任・登用を積極的に進めた。16～18年度の採用・昇任・登用は、16年度は17・0%、17年度は17・0%、18年度は18・8%と上昇した。

一方、本県の教員養成・研究・教育臨床研究の拠点機能強化のため、これまで教育学部が併任していた附属小、中、特別支援学校の各校を一般公募で選考し、今年度から新たに採用された。教育学部教授の藤原明彦氏が就いた。

(成田真由美)

©陸奥新報社提供

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。